



市民アンケート届け 南区役所と懇談

今年、党市議団がとりくんだ市民アンケートにたくさんの要望が寄せられました。地域の皆さんとともに南区役所の担当課に実態を伝え、一刻も早い改善を、と求めました。その結果、いくつかの問題で解決がはかられました。

地域の要求にとりくみ実現



めくれて危険な点字ブロック(南浦和2丁目)
→ 危険箇所を緊急修繕



善前小学校脇の道 緑石に段差が生じ危険
→ 年度内に舗装を計画



武蔵浦和駅西口交差点 歩行者用の青信号が短い
→ スクランブル化が実現



大谷場公園 雨が降ると大きな水溜りに
→ 排水溝に溜まった土砂を清掃して改善



薄暗い武蔵浦和駅西口の階段。もっと明るく



錆だらけの歩道橋、修繕を(白幡2丁目)



危険な交差点を歩車分離信号に(太田窪5丁目)

さらに要望を
続けます

トイレはすべて洋式に! ~決算委員会で求めました

公民館

南区の公民館にはまだたくさんの和式トイレが残されています。市全体では8割以上のトイレが洋式になっているのに、南区8館の公民館のうち5館が市の平均以下、トイレの数そのものが少ない状況です。トイレ洋式化にむけ早く改善を、と求めました。南区内の公民館は、来年度からの「公民館リフレッシュ計画」で順次修繕工事の計画対象になり、100%に進んでいく予定であることが確認できました。



谷田公民館でトイレの実態を視察

公園

市民一人当たりの公園面積5.03㎡(20政令市で15番目)と、ただでさえ公園が少ないさいたま市ですが、トイレが設置された公園は175か所(17.4%)だけです。和式トイレしかない公園も40か所もあります。多額の予算が必要だからと市はトイレの設置に後ろ向き。引き続き「公園にトイレを」「洋式にして」との声を届けます。

	都市公園数	トイレが設置されている公園数	
		和式便器のみ	洋式便器あり
10区合計	1008	175	135
南区	113	21	19

教育 さいたま市政に市民の声を護

73億円の黒字は 市民のために



9月議会の最終日、私は決算関連の討論に立ち、2021年度一般会計、水道事業会計、下水道事業会計について、大幅な黒字を上げながら市民負担の軽減にとりくまないこと、大型開発に大規模な財政を投入していることを批判しました。財政の黒字を活用し、学校給食費、介護保険料、上下水道料金などの引き下げを行うことを強く求めました。

患者が大切に される介護を ~市立病院

患者ご家族から「入院した市立病院の中で人間らしい介護が十分受けられなかった」との声が寄せられました。私は2月議会予算委員会で、コロナ禍では、高齢で介護を必要とする患者が施設に移ることができず、病棟の看護師の大きな負

担になっている問題を指摘しました。今議会決算委員会でも、職員にとっても患者にとっても、職員の体制の改善が求められていると主張。こうした中で、患者介護にあたる看護補助職員に介護の有資格者を配置する改善が図られました。

撤回しかない!

大規模義務教育学校 「武蔵浦和学園」

市は、沼影市民プールを廃止して武蔵浦和学園義務教育学校を建設する計画をあくまで推進しようとしています。私は文教委員会(議案外質問)でも決算特別委員会でも、この計画の強引さを指摘しました。

議案外質問で分かった計画の問題点

沼影新校舎

- ▶ 開校後に現沼影小校舎の解体
→ スポーツ施設(一般市民向け)の建設
- ▶ プールは隣地に市民向け体育館が建設される予定なので作らない
- ▶ 沼影校舎の体育館はユニットから独立(=3つのユニットで一つ)

内谷校舎

現在は中学校、義務1~4年が通う予定

- ▶ 手すりをつけ、踏面に滑りにくい素材を使うことで現行の階段をそのまま使う
- ▶ 手洗い場、校庭遊具、体育館設備は改修必要。開校した後の夏休みに実施予定

教育委員会が市民からも求められ、議会も求めた地元住民への十分な説明を行っていないことは重大な問題です。住民団体の皆さんとともに説明会の開催を要望、議会でも強く求めました。その結果、11月以降、関係する小学校で未就学の子どもたちの保護者も含めた説明会が開催されることになりました。



南区の住民団体とともに説明会の開催を市に求めました

2022年9月議会報告

日本共産党
さいたま市議会
議員(南区)

金子 あきよ

さいたま市議団 ホームページ
さいたま市議団 YouTube



日本共産党さいたま市議団 さいたま市浦和区常盤6-4-4(さいたま市役所内)
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

お問い合わせ
金子あきよ生活相談所: さいたま市南区南浦和2-31-13 青木ビル TEL 881-2487 FAX 881-2497



物価高・コロナ禍から命と暮らしを守るさいたま市へ

9月議会に報告された2021年度決算は、コロナ禍のもとでも過去最高水準の大幅黒字になり、市民のために十分使われていないことが明らかになりました。さらに多額の基金残高も明らかに。私たちは、これらを物価高対策の財源に使い、市民生活と地域経済の支援をするよう提案しました。

2021年度決算は大幅黒字

一般会計 73億円黒字

財政調整基金
残高 225億円

水道会計 52億円黒字

国民健康保険基金 9.5億円

介護保険基金 44.5億円

以下の緊急対策を提案しました

給食費値下げなど暮らし支援

中小業者支援給付金など
経済支援

水道料金値下げ

国民健康保険税値下げ

介護保険料値下げ



760項目

2023年度予算要望を提出

来年の予算がこれから本格的につくられます。日本共産党市議団は今後も続く物価高対策として公共料金や保険料を引き下げること、地域経済支援の実現などを求めました。あわせて市全体としてジェンダー平等や地球温暖化対策の視点を入れることも強調しています。

予算の使い方を大型開発優先、福祉・教育費の削減・抑制から、暮らし最優先に変えることを求めます。

あなたの声を市政に届けて 令和3年度の実績 (2021年4月~2022年3月)

1 新型コロナ対策

- ワクチン接種予約の改善[コールセンターのフリーダイヤル化・回線増、ウェブ予約システム改修(医療機関の空き一覧掲示、1回目と同時に2回目の予約が可能に)]
- 保育士、小学校教員、幼稚園教諭、学童保育支援員などへのワクチン優先接種が実現
- 小規模企業者等給付金(10万円)の第3弾を実現
- 医療体制の拡充が実現

- 新型コロナ対策としての融資制度の継続が実現
- 子育て世帯への特別給付が受け取れなかった世帯に対し「支援給付金」の支給が実現



2 物価高騰対策

- 認可保育所への光熱費補助が実現
- 国の月次支援金を受給する人も小規模企業者等給付金を申請可能に
- 商店街街路灯全額補助の継続が実現
- 農業機械のリース制度について業者との調整が実施

3 誰もが暮らしやすい市政へ

- 学校トイレへの生理用品の配置、拡充を実現
- 「校則見直しプロジェクト」の実施継続
- オンライン学習通信費補助額が増額(年額12,000円→14,000円)
- 児童発達支援センター・ひまわり学園の通所日数や看護師増などの改善
- 障がい者の移動支援が拡充

- 市立ひまわり特別支援学校に高等部が増設へ
- 福祉避難所への直接避難が可能に
- 避難所の備品(ファミリーパーテーションや段ボールベッド・エアマット)拡充
- 市庁舎内のプラごみのリサイクルと実証実験を実現
- 市のCO₂排出削減目標(35%→46%)の引き上げ
- 生ごみ処理容器等購入費補助(コンポスト)の予算が増額
- 犬・猫の殺処分ゼロを達成
- ドッグランの「社会実験」が実現(浦和区三崎地区公園)
- ケアラール支援条例が制定
- 公民館のWi-Fi設置が5カ所から10カ所に増設

高校生までの医療費無償化を求める請願が不採択に

保健福祉委員会に「高校生までの医療費無償化に対する請願」が提出され、私たちは「東京23区をはじめ、政令市でも18歳まで医療費無償化の実施自治体が広がっている。本市でも実現を」と、採択を求めましたが、民主改革市議団、自民党市議団が反対して可否同数、委員長(自民党)が可否を決し、否決(不採択)となりました。大変残念ですが、引き続き、実現のために全力を尽くします。



採択を求めて討論するとうみ市議

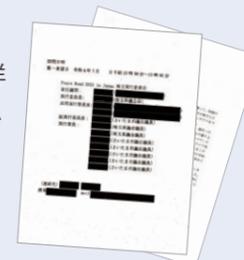
徹底説明! さいたま市と統一協会

8/22 党市議団として、市に対して統一協会とさいたま市の関わりを調査を依頼。

9/1 清水勇人市長が記者会見で、統一教会系イベント「ピースロード埼玉」から表敬訪問を受けたことを報告。その際、「調査の結果、2018~2021年まで4回表敬訪問を受けた」「地元議員から要請があった」と話す。

9/7 議長に対し、議員と同団体の関係を調査するよう働きかけることを要望。議長は「今後、大きな問題になれば検討する」と回答。

9/9 「ピースロード埼玉」の表敬訪問の詳細資料の提出を依頼。出された資料には、埼玉県議3名、さいたま市議6名の肩書が。しかし氏名は黒塗り。



9/13 たけこし連市議が代表質問。黒塗りで提出した理由や当該市議に資料請求時に連絡をしたかなどを追及。

9/14 読売、朝日、東京、埼玉の各メディアが代表質問を報道。

9/26 議長に対し、「議会として調査すべき」と再申し入れ。議長は「代表質問後、多くのマスコミが報道し、市民の関心も高まった。各会派に調査を要請したい」と回答。



議長へ申し入れ

9/29 議長の調査要請を受け、民主改革さいたま市議団の市議2名が、統一協会のイベントに出席していたことを公表。

10/3 議長が代表者会議において、各会派に統一協会との関わりについて調査を行うよう要請。しかし、さいたま市議会自民党議員団が調査を拒否。

10/19 中島隆一市議(中央区・自民党)が会見を行う。「イベントには行った。黒塗りの中に名前が記載されていない」と発言。

10/21 中島隆一市議が2度目の会見。「黒塗りの中に名前があることを議長に教えてもらった。勝手に書かれていたようで、自分は知らなかった」と発言。

10/28 党市議団が「議員と統一協会との癒着に関する緊急声明」を発表。

11/3 埼玉新聞が調査を行い「市議13名に関わりを認め、調査拒否7名、未回答3名だった」と公表。